



▲新米の餅つきを行う子どもと会員

ご利用頂いているお客様に感謝を込めて、11月24日に農産物直売所きみまち杉ちよくんで、収穫感謝祭が開催されました。

今年は「我が家の自慢っこ料理試食会」として、ネギや大根、落花生などを使用した、各家庭自慢の一品が紹介されたほか、各種漬け物の試食や様々な加工品が店頭にも並び、来場者を楽しませていました。また屋外では、新米を使った餅つきも行われ、訪れた人々も参加して収穫を祝いました。

今年一年の収穫と 利用頂いているお客様に感謝を込めて



▲圃場に適した肥料・農薬の使用を学ぶ

米の安定した収量確保に向け、JAは肥料・農薬の適正使用を紹介する勉強会を、11月20日から9日間にわたって開催しました。

このうち24日に行われた勉強会では、育苗箱全量施肥専用『育苗まかせ』の栽培法や、除草剤の上手な使い方などについて説明が行われました。また低温・高温障害への耐性と高品質米生産に対し、圃場で不足しているケイ酸などを、土壌改良剤の散布で補う必要性が説かれました。

高品質米の収量増加を目指し 肥料・農薬について理解を深める



▲廃棄ビニールの処理申請を行う農家

不要となった農業用廃棄ビニールを収集し、農家に代わって処理申請を行う取り組みが12月1日、JAの各営農センターで行われました。

この取り組みは環境保全などを目的に、年数回行われており、この日は全体で31名の方が利用に訪れました。利用した農家は、「処理に困っていたので、JAが代わりに行って助かりました。」と喜んでいました。

また次回の収集は、来年3月を予定しております。

農閑期に入り 不要なビニールをJAが代行処理



▲カントリーエレベーターのサイロを見学する生徒たち

JAあきた白神カントリーエレベーターで11月13日、秋田県立金足農業高校生40名が見学に訪れ、最新機械を駆使した乾燥調製作業について学びました。

これはJA全農あきたが農業の次世代を担う高校生に対し、県産米の流通システム等を学んでもらおうと企画しました。生徒たちはカントリーエレベーターの持つ多機能な役割を学んだほか、地元農家の菊池正さんへ訪問して、ネギ栽培について理解を深めました。

当JAのカントリーエレベーターを 金足農業高校生が視察学習

